



たより

平成20年5月20日
掃水まちづくり協議会
NO. 19

今回は二枚の構成
になっています。

掃水まちづくり協議会 平成20年度総会について(その2) 議事質疑の概要報告

インターネットより
掃水まちづくり協議会総会当日の様子は、松阪市のホームページ「まちづくり&地域マネジメント」から入っていただきますとご覧になれます。

第三回協議会総会が終わりま

した。今回は総会の議事審議等の主なものについてお知らせいたします。

議事

第一号議案

平成十九年度 掃水まちづくり協議会事業報告と決算報告について
質問者 天野加津義さん (みどり苑)

平成十九年度決算報告で「その他」収入の内容について教えていただきたい。

事務局

十一月九日のふれあいウォーキングで天王山運動公園を縦断するコース、約一キロの除草作業を松阪市よりまちづくり協議会で請け負い実施した。そのときの収入である。

第二号議案

掃水まちづくり協議会会長、会計監査の決定について

このことについて、まちづくり協議会の会則では第五条(一)協議会会長なら

平成20年度本部役員

会 長	久 瀬 宰
副会長	北 岡 巖彦
	中 西 義子
	今 井 順子
会 計	森 田 義子
書 記	高 田 正和
広 報	三 宅 忠行
運営委員長	森 坂 享司
副運営委員長	高 田 勇孝
顧 問	原 田 俊夫
自治会長	山添町 森 田 紀久雄
	安楽町 中 西 敏夫道
	山下町 笹 山 博彦
	伊賀町 山 本 昌彦
	みどり苑 高 田 勇孝
	豊原町 久 瀬 宰美
	櫛田町 松 本 雅美
	清水町 北 岡 巖彦
菅生町 永 田 博久	

びに会計監査二名は、総会において決定する。」という規定があります。そのことについては、事務局は、総会の時間等の都合上審議が難しいと判断し、当日、午前十一時より評議員会を開催し、会長と会計監査についての審議をしていただきました。そ

第三号議案

掃水まちづくり協議会役員改選について
事務局の提案どおり質疑なく決定されました。

第四号議案

掃水まちづくり協議会会則の変更と追記について

の結果について、豊原町・池田正司さんより「午前の評議員会において満場一致で
会 長 久瀬 宰様(豊原町)
会計監査 有滝弘一様(山添町)
加藤正之様(豊原町)
に決定した。」との報告を受けました。

(役員等の任期)

第七条「役員等の任期は二年とする。」を「役員等の任期は総会の決定から総会の決定までの二年とする。」と側線のついているところの変更提案があり、提案どおり変更するに決定しました。その後、

質問者 奥田一郎さん

(伊賀町)

会則では、役員等の任期は二年となっているが自治会長の任期は一年のところがある。その整合性はどうか。但し書きで「自治会長が一年で交代したときは、協議会役員も交代する」旨が必要ではないか。

第四号議案について

議長が、質問者の提案どおり役員等の任期に合わせ、但し書きを追記するというところで、採決を取り可決しました。



総会風景

(旅費)

第二十二条(側線が変更箇所)
「協議会に係る旅費は、私有自動車を使用した場合、十キロ以上遠を対象とし、キロ当たり三十円(二十五円から)を支払う。」と提案があり、提案どおり変更するに決定しました。また次の三項を追記と提案がありました。「行事等で私有自動車・機具等(裏につづきます)」

平成20年度事業		
担当部局	実施時期	主な事業
1 地域振興部	(通年)	・まちづくり協議会活動の振興(広報活動の推進) ・意識調査の実施
2 公民館活動部	(通年)	・スポーツ大会の実施(夏まつり等) ・郷土の歴史文化とのふれあい活動
	(春・秋実施)	・芸能・文化事業の実施
3 老人会活動部	(通年)	・環境美化事業の実施 ・子どもとのふれあい事業の実施
4 保健福祉部	(秋実施)	・親子のふれあい活動の実施
5 安全防災部	(秋実施)	・掃水地区合同防災訓練の実施
	(通年)	・地域の防犯パトロールの実施
6 青少年育成環境部	(通年)	・あいさつ運動の実施
	(通年)	・地域の環境美化運動の実施
7 産業振興部	(通年)	・環境問題への取組(クリーン作戦等)

を提供したものである。半日は五百円、一日は千円の借入料を支払う。」と、提案どおり追記するに決定しました。また

(表彰)

第二十四条(表彰対象者)(側線が変更箇所)について、「地域活動の発展向上に貢献のあった個人又は団体(団体を追記)より、役員会の協議を経て会長が決定をする。」と、提案があり、提案どおり変更するに決定しました。

**第五号議案
掃水まちづくり協議会事業案**

と予算案について
次の方々の質問や提案がありました。

質問者 田淵アキ子さん

(みどり苑)

・「評議員の選考基準」と「誰が選ぶのか」について
事務局

・選考基準はなく、各自治会より自治会長が選びます。
杉本周介さん(豊原町)

・連合自治会からの補助金が六十五万円に増額されている理由は。

・地域振興部が前年度より五十七万円増額になつていゝるが理由はどうか。また、安全防災部は重点テーマになつていゝるのに十八万円が減額されていゝるのは何故か。事務局増額は

自治連合会の行事をまちづくりの方へ移行したので予算も移した。

質問者

・安全防災費などは減額しないで増やしてほしい。
事務局

・防災費はまちづくりだけみれば減っているが、連合自治会の方でも計上しているのでは、絶対額としては増えている。

木村重夫さん(豊原町)

・危険予知活動を(R・Y活動)をまちづくり協議会に取り入れるてはどうか。例えば、①道路に道路照明をつける。②横断歩道橋から自転車に乗って降りてくることが危険と思われる。③上空をラジコン飛行機が飛んでいる。民家へ突っ込んだらどうか危険である。このような危険と思われることに対して危険を未然に考え防ごうとするチームを結成したらどうか。
事務局

・子どもたちの安全安心を守るため、暮らしを守るためまちづくりでも考えてみたいと思つた。

高松和彦さん(豊原町)

まちづくり協議会に要望として①「協議会たより」には子どもたち以外の意見も取り入れてほしい。②プライバシーに関することは慎重に扱ってほしい。③協議会のテーマに「感謝の気

持ち」を取り入れてほしい。
事務局

①についてはできるだけ多くの皆さんに読んでいただければよいといふ工夫をしている。

今年には自治会の方にもリレー方式で、部会の方にも意見を述べたことと思つていゝる。

②十分に気をつけていゝるが、気のつかれたことは直ぐに伝えてほしい。③感謝の気持ちは大切である。何かの時には取り上げてみたい。

この後、議事の審議は終了し、議長や書記の解任が行われ、協議会功労表彰式が行われた。

二十年度 功労表彰者 二名

① 榎田自治連合会会長を長年やつていただいた功労として

伊賀町 山本忠行さん

② 榎田地区体育委員本部役員として長年活躍していただいた功労として

安楽町 脇田 貴さん

久瀬会長より賞状と記念品を受け取っていただきました。

総会に参加して

協議会副会長 今井順子
(豊原町)

やさしい桜の花から活気あふれる新緑の中、心配された雨も

上がり参加される方々が自分たちの地域をよりよくしようとの気持ちのもと、総会が開催されました。

協議会は掃水地区の自治会が一つになつて地区全体の発展について考えようと設立されたそうです。「みんなが元気で仲良く楽しいまちづくり」のテーマの一つ「あいさつ運動の推進」

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。近所の人と顔を見て笑顔で挨拶、心を通わせることによって仲間づくりができて安心な町になると思ひます。挨拶は人の心を明るく、また気持ちよくしてくれます。中でも朝の「おはよう」、「おはようございます」は一日分の元気を頂き、気持ちも豊になります。どうか大きな声で笑顔もプラスされて、挨拶を広めていきましょう。

総会後の防災講演会ではご近所との連携を十分に、慌てず、冷静に行動することが一番だと改めて緊急対応を心した次第です。自分たちの地域で安心安全に暮らしていくために、各方面に気配り目配りして皆で取り組んでいきたいですね。

今年度は、①行事の充実、②少子高齢者・防災環境問題、③地域の意識調査の三つのことを大切に活動とのこと、地域の皆(二枚目につきます)

様が「いざ」のとき助け合える仲間作りのためにも協議会の行事に参加していただき、心の交流とともに大きな声で挨拶笑顔あふれる町にしていきたいと思

います。
「一番美しい花は笑顔」

知って得する昔の話

シリーズその二

清水の里、銭かけの松と西方寺

伝教大師(最澄)が伊勢にこられたときのお話です。そのときの清水近郊では、やはり病が流行し死者が多く出ていました。村人たちは大師にお救いくださいとおすがりしました。すると、大師はこの西方寺に入られ、一刀三札し、薬師如来像を彫刻され、「村人たちよ。病を治したくばこの像秘像を一心に拝め」と申されました。村人たちは喜んでこの像を拝むと、たちまちはやり病は治まったそうです。

このことが、このお寺のあたりが清水の森と言われる所以で、人々はこのご尊像を「森の薬師」と呼ぶようになりました。

執筆者 伊賀町 三宅忠行

今から四百十九年前までは清水町に伊勢街道が通っていました。榎田川を渡るために渡し場があり、大雨になりますとよく川止めになりました。ある川止めの日に侍が病になり伊勢神宮までお参りをするには、これ以上できないと決心しました。侍は榎田川のそばの大きな松の小枝にお金を吊り下げ、伊勢の方に手を合わせ、息を引き取ったということでありました。

その後、この松には銭がいろんな人により掛けるようになりました。それから、この辺りを「伏せおがみ」と呼ぶようになり、今も「伏越賀見乃姿」と書かれた石柱が立って、清水のゲートボール場、東三百メートルのところの森にあります。今から千二百年前、比叡山に延暦寺を立てて天台宗を開いた



銭かけ松跡地

シリーズ自治会(その二) 豊原町自治会の取り組み

会長 久瀬 幸

四月現在、豊原町は二十三町内、大変多くの四百八十五世帯により構成されています。それ

ゆえ日頃より自治会活動については少しでも多くの人に関心を持っていただき、分かり易く工夫した運営に心掛けています。

現在、豊原町内においても高齢者が増え、また地震に対するいろんな不安が大変高まっています。しかし、それらの課題に対応するには町内の皆さんから頂いている自治会費二千四百円(年間)だけでは運営が難しく、節約を進め、不足分については会費の値上げも考えました。しかし、今の情勢からは到底無理なことです。そこで、昨年より自主的財源の確保に努め、市の納税貯蓄組合に加入し納税啓発チラシの町内配布をしました。

町内の皆さんの熱心な参加・協力もあり、予算的に余裕ができました。おかげ様で、今年は今年から実施している防災対策の他に、次のような還元事業が余裕をもってできました。

① 昨年度は市の消火栓のあるところへノズル、ホース、格納箱などを十三町内に設置し、さらに、今年度も引き続き未設置町内には設置を推進します。

② 七十五歳以上の独居家庭や夫婦二人で一人が寝たきりの家庭、それに生活保護家庭に対して、それぞれ火災警報器一基の無料配布をし、

③ それを町内会長が奉仕で設置しました。(五月完了予定) 地震による家屋倒壊を想定し、埋もれたとき、自分の居場所を知らせる「呼び笛」を全世帯へ配布、二十三町内へは倒壊家屋からの救出を考え、鉄のポールを配布し、防災対策の充実を図りました。(五月完了予定)

協議会からお知らせ！ 本年度は、豊原町を皮切りに各自治会の取り組みや催し物・行事など自慢話や苦労話、それに地域の人々に知ってほしいことなど内容は問いませんので、自由に投稿していただき、地域の活性化につなげようと思っております。リレー式に書いていただこうと思っております。次は、「みどり苑」の予定です。

あいきつシリーズ 地域の人々と私 東郡中二年生 豊原町 伊藤茂美

私が住んでいる豊原町ではたくさんの人々が地域をよくしてくれています。例えば、朝学校へ行くときに、毎朝元気に挨拶

をしてくれます。朝だけでなく、学校から帰ってきたら「お帰り」とか、「こんにちわ」とか、必ず声を掛けてくれるのでとても嬉しいです。それに、地域をきれいにするために、ゴミのそうじや分別などにも気配りしてくれているので、きれいな状態が保たれています。こうしたたくさんの人々の気配りが、今の地域の状態を作っています。毎日のことなのであまり意識したことにはなかつたけれど、同じ地域の中に住んでいて、このような交わりがあることは本当にいいことだなあと思っています。それに、こんな地域を作ってくれている周りの人々に感謝しなければいけないとも思いました。また、感謝するだけでなく、私たちはどうしていったらいいのか考えるべきだと思います。そのためにも、地域の行事などにも積極的に参加し、もっと挨拶の幅をひろげていったら、今よりもっと楽しい地域の輪ができると思うので、一人一人がそれを心がけていきたいなあと思います。そして、私も協力してまいります。(裏につづきます)

中国・四川省の地震から 学ぶもの

十二日午後、中国の中央部に位置する四川省でマグニチュード七・八というエネルギーでは十三年前の阪神大震災の三十倍といわれる大きな地震が起こったことは皆さんもご承知の通りです。それは日本がすっぽり入るような広範囲で起こりました。死者は十四日朝ですでに一万二千人を超え、まだ一人近く生き埋めになっているようです。また中国政府もまだ全体像をつかめきつていないようで、その被害はますます増える兆しを見せています。

中国は日本と同じ地震大国で四川省、雲南省付近は特に大地震がよく起こり被害は日本と比べ物にならないほど大きいものです。

被害を大きくしたのは、地震が大きかった、広範囲だったということはもちろんなのですが、一般家屋の多くは簡単にレンガを積み上げたものやコンクリート製であっても鉄筋の入っていないものも多く、倒壊の原因になりました。つまり、地方の開発の遅れや社会基盤の遅れが大きいということなのです。一方、私たちは、この地震を

決してよそ事と見ていてはなりません。学ぶべきものも多いように思われます。「備えあれば憂いなし」のことわざにもありますが今のうちにおかねばならないことは沢山あるようです。生活必需品の備蓄の問題、家屋の耐震強化、地域の防災組織の問題、避難路・避難場所の問題、気象庁の緊急地震速報の周知と活用についてなど。



Yahoo ホームページから

掃水まちづくり協議会での地震防災に対する取り組みが大切になります。協議会の部会のひとつに安全防災部があります。この秋の合同防災訓練では少しでも実践的な訓練を考え地域の安全安心につなげていきたいと思っております。

(もう一度、本紙四月号「十八号」総会時の地震講演会の記録内容をお読みください。きつと多くの気づきがあるようです。)

掃水夏まつりで シャトルバスの運行

いよいよ夏まつりが近づいてまいりました。昨年は夏まつりが途中で中止になってしまい、誠に残念でした。今年こそはよい天氣に恵まれますよう、折らずにはおれませぬ。

昨年の反省から、できることは速やかに改善し、皆さんに少しでも喜んでいただけるように致したく思っています。そのひとつであります会場から遠い山添・安楽・山下・みどり苑、伊賀町、それに菅生・清水・櫛田の各町の自動車の持ちこたないご家庭やお年寄りや幼い子どもたちなど、会場まで来ていただくことはなかなか容易ではありません。夜間に遠方より歩いて参加しなければなりません。会場の近くの方と平等とは行きませんが、少しでも気楽に参加していただけるように、そのような方を優先的にシャトルバスにより送迎させていただきます。学校を起点にし、上方面(山添町・みどり苑方面)と下方面(菅生方面)との二方向で実施いたします。

後四時ころから十時半くらいを二台で送迎をさせていただく予定です。これらのことにつきましては、伊賀町の増田幸彦様(南豊レンタリース社長)の「地域のことなら」と、いうご好意により実施させていただきます。心より感謝したいです。自治会長さんは、集会場所をどこにするかなど、考えておいてください。

おうえみこ
越知愛幸子さん受賞!
櫛田町

掃水まちづくり協議会前副会長の越知さんが、三月二十一日、三重県文化功労賞を県知事室において受賞されました。

先生におかれましては、昭和三十年より四十年間小中学校の教員として活躍され、主に中学生を中心に授業で、合唱クラブで多くの生徒を育てられました。また、退職後は、今も松阪市の青少年少女合唱団の団長としてご活躍中であり、松阪市の合唱友の会の会長として松阪市の合唱フェスティバルの実行委員長としてもご活躍中であります。学校教育はもとより社会人に合唱を通して尽力をされています。今も市内の中学校での卒業式に行われる、在校生がプラスパ

ンドに合わせてハレルヤコーラスを二階のテラスで歌う方式は、先生が始められました。松阪はもとより県下の多くの学校で今も行われています。



**掃水自主防犯パトロール
二周年記念式の開催**

青色パトロール隊も活動を始めてから丸二年が経過しました。現在各町内からの五〇名の隊員で、月に一〇回、山添町から菅生町までの範囲、約二〇kmを一時間三〇分程度をかけてパトロールを行っております。

これからも皆様方のご理解とご協力と隊員のボランティア精神でパトロールを実施したいと思います。そこで、六月二日(木)の九時から市長・警察署長を迎えて三〇分程度で二周年の記念式を第三銀行櫛田支店の駐車場でを行います。ご町内の皆様も是非お越しください。雨天の場合は、小学校の体育館で行います。